

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-114	高等学校	外国語	英語表現 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	英 I 322	NEW FAVORITE English Expression I		

1. 編修の趣旨及び留意点

グローバルな舞台に積極的に挑戦し活躍できる人材を育成するために、以下のことに留意しています。

- ① コミュニケーションを図ろうとする意欲を引き出し、自分の考えや日本のことを積極的に発信できる生徒を育成する。
- ② 事実や意見などを多用な観点から考察し、様々な話題や場面、伝える相手や目的に応じて、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。
- ③ インプットからアウトプットへと活動がスムーズに繋がるよう紙面構成を工夫し、実践的なコミュニケーション能力を養う。

2. 編修の基本方針

基本方針

1

コミュニケーションを図ろうとする意欲を引き出し、自分の考えや日本のことを積極的に発信できる生徒を育成する。

- ・ Lesson冒頭に目標を示すことで、ゴールを見据えて学習できるようにしました。
- ・ Lessonのトピックは、生徒が実際に英語でコミュニケーションを図る際に役立つよう、自分のこと、日本の学校生活、地域、文化について発信するテーマを選定しました。
- ・ LessonのYour Turnは、実際の使用場面を意識し、伝える相手や目的を明確にしました。また楽しんで取り組める活動を用意しました。

基本方針

2

事実や意見などを多用な観点から考察し、様々な話題や場面、伝える相手や目的に応じて、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。

- ・ LessonのTargetでは、様々な場面や表現形式に触れられるようにしました。また、場面や相手に応じた適切な表現方法に気づき、正しい発音の仕方を学習できるよう、For Better Expression (表現と発音のコツ) を設けました。
- ・ LessonのYour Turnは、聞き取ったことをもとに、相手や場面に応じて発信する活動を行います。活動の中で論理展開の基本が学習できるよう、表などを使って情報を整理できるようにしました。また、適切な表現が学習できるようTool Boxを設けました。さらに、ペアやグループ活動を多く設け、互いの意見を比較し、学び合う協働学習ができるようにしました。

基本方針

3

インプットからアウトプットへと活動がスムーズに繋がるよう紙面構成を工夫し、実践的なコミュニケーション能力を養う。

- ・ Lessonではインプットからアウトプットへ無理なく繋がるよう、両者のバランスを配慮し、段階を踏んだ構成にすることによって、生徒が無理なく表現活動に取り組めるようにしました。
- ・ 文法はコミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、単なる文法学習に始終しないよう、それを使ってアウトプットする活動を多く用意しました (Step Up, Your Turn)。

3. 対照表		
図書 の 構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所の例
Lesson	<ul style="list-style-type: none"> ① 異文化理解を促す題材や自分・地域・日本のことを発信する言語活動を通して、文化によって異なる発想や考え方、文化を越えて共通する発想や考え方に触れさせます。(第1号) ② 様々な題材を扱い、話題や場面、相手に応じて論理的、効果的に伝える方法を学ぶことで、幅広い知識と論理的な思考力を養います。(第1号) ③ 英語と日本語の異なる特色に気づかせることで、自らの言語や文化を見つめ直し、異文化を理解しようとする態度を養成するきっかけを与えます。(第1号) ④ 言語活動を通して、他人の価値観や意見を尊重しながら、自分の考えに基づき積極的にコミュニケーションできる態度を養います。(第2号) ⑤ ペアやグループで協力して行う言語活動を豊富に用意することによって、自他を大切にし、協力し合う心を育みます。(第3号) ⑥ 環境問題について考える題材および身近なことから改善策を提案させる言語活動を通して、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養います(第4号) ⑦ 2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を控え、自国の伝統や文化について知り、それらを他国に向けて発信する力を養います。(第5号) ⑧ 日本の学校と外国の学校のルールの違いや、文化によるジェスチャーの違いを学ぶことで、自国の文化を見つめ直すとともに、他国の文化を理解し尊重する心をはぐくみます。(第5号) 	<ul style="list-style-type: none"> ① 各 Lesson の Target, Focus, Your Turn など ② 各 Lesson の Target, および Your Turn など ③ 各 Lesson の For Better Expression, Focus, Grammar Alert など ④ 各 Lesson の Your Turn など ⑤ 各 Lesson の Your Turn など ⑥ Lesson 16 など ⑦ Lesson 4, Lesson 9, Lesson 10, Lesson 18 など ⑧ Lesson 7, Lesson 10 など
そのほかのページ	<ul style="list-style-type: none"> ① 英語の品詞や文の構造の基本、正しく英文を書くためのコツなどの学習を通して、日本語とは異なる特色に気づき、理解しようとする態度を養います。(第1号) ② 英語での Eメールの書き方や住所の書き方を学ぶことで、他国の人と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養います。(第5号) 	<ul style="list-style-type: none"> ① Bridge Lesson, Writing Tips など ② pp.116-117 など
4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色		
観点	留意点	具体例
①教育基本法の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ① グローバルな舞台に積極的に挑戦し活躍できる日本人を育成するために、英語力の基礎を確実に身につけ、その英語力で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養います。 ② 世界に日本のよさを発信できる生徒を育成するために、日本の伝統・文化に関する題材を豊富に取り上げています。 	<ul style="list-style-type: none"> ① Lesson全般 ② Lesson 4, Lesson 9, Lesson 10, Lesson 18 など

②学習指導要領の遵守	<p>①Lessonの学習を通して様々な場面に触れ、相手や目的に応じて論理展開や表現方法を工夫しながら伝える能力を養えるよう、題材や練習問題が選択・配列されています。</p> <p>②文法はコミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、生徒が学習したことを実践的に使うコミュニケーション活動を豊富に用意しています。</p>	<p>①Lesson全般</p> <p>②Lessonの Step Up, Your Turnなど</p>
③内容・配列・分量	<p>①LessonのTarget文や例文の難易度、語数、学習項目の難易度はLessonが進むごとにゆるやかに上がるようになっており、無理なく英語力を向上させることができます。</p> <p>②各Lessonは、写真資料とQ&Aによる導入、モデル文の学習、言語材料の学習、練習問題、コミュニケーション活動の順に編集されており、効率的に学習できるように配慮されています。</p>	<p>①Lesson全般</p> <p>②Lesson全般</p>
④評価 (CAN-DO)	<p>①各Lessonの冒頭にLessonの目標を明示しました。Your Turnでは言語活動を通して、そのLessonにおける目標の達成度を確認することができます。</p>	<p>①Lesson全般</p>
⑤英語で授業を行うための配慮	<p>①各LessonのWarm Up! (写真を使った英語による質問) を使って、英語で授業の導入ができます。</p> <p>②各LessonのTarget文や例文には和訳がついており、訳に時間を取られず音読活動やコミュニケーション活動に時間を十分使うことができます。</p> <p>③各LessonのYour TurnはALT等を活用した英語による言語活動がしやすい構成になっています。</p>	<p>①各Lessonの Warm Up!</p> <p>②各Lessonの Target</p> <p>③各Lessonの Your Turn</p>
⑥中学校との接続	<p>①中学校からのスムーズな接続のために、Bridge Lessonを設けています。</p> <p>②中学既習の言語材料も、改めて各Lessonで丁寧に取り上げ復習できるようになっています。</p>	<p>①Bridge Lesson</p> <p>②各Lessonの Focus</p>
⑦伝統・文化の取り上げ方	<p>①日本の伝統・文化に関する話題を取り上げ、自国の伝統・文化への意識を高め、日本を世界に紹介する意欲を促すことができます。</p> <p>②言語を文化の重要な要素ととらえ、英語特有の文構造や表現、コミュニケーション方法などの学習を通して、英語とは異なる日本語の特性などに気づきを与えます。</p>	<p>①Lesson 4, Lesson 9, Lesson 10, Lesson 18 など</p> <p>②各Lessonの For Better Expression, Focus, Grammar Alert など</p>
⑧自然科学の取り上げ方	<p>①特殊な語彙や表現による負担に配慮して、外国語科にふさわしい意味のある切り口で題材選定をしています。</p>	<p>①Lesson 14, Lesson 16, p.88</p>
⑨家庭学習・自学自習への配慮	<p>①自学自習できるコラムを豊富に設けています。</p> <p>②巻末資料にExpression Park (補充表現集) 等、生徒の自学自習に役立つ資料を用意しています。</p>	<p>①各Lessonの Grammar Alert!, Writing Tips</p> <p>②pp.105-119</p>
⑩文字・印刷・製本	<p>①活字は鮮明で美しく、写真、イラストなども鮮明です。</p> <p>②製本は堅牢で、開きやすい様式です。</p> <p>③図やグラフの色使いなど、色覚特性への配慮を含むユニバーサルデザインになっています。</p>	<p>①全体</p> <p>②全体</p> <p>③全体</p>

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-114	高等学校	外国語	英語表現 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	英 I 322	NEW FAVORITE English Expression I		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1. 全体構成

20 Lesson 構成とし、全体を通して自分のことや学校生活のこと、自分の住む地域のこと、日本の習慣や文化などを世界に発信できるようになるようにテーマを選びました。また、無理なく学習できるよう、Lesson を追うごとに難易度や分量が上がるようにしました。

2. Classroom English

授業を英語で行う際に、生徒が参照できるように授業で使える英語表現をまとめました。

3. Bridge Lesson

中高の接続がスムーズに行えるよう、英語の基本的なルール（品詞、文の要素、句と節）と中学での定着率が悪い疑問詞の使い方を取り上げました。

4. Lesson

a. Warm Up!

Target の内容に関連する写真と Q&A を配置し、クラス全体、ペアやグループで話し合うことでスキーマを活性化しつつ、Target の内容への興味関心を高められるようにしました。

b. Target

会話、E メール、手紙、新聞、ガイドブック等、実生活における様々な場面やそこで用いられる表現形式に触れられるようにしました。Target はすぐ横に和訳をつけることで、文法訳読指導になることを防ぎ、音読練習や暗唱などに取り組む時間を確保して、表現を実際に使えるレベルまで定着させられるよう工夫しました。

c. For Better Expression

Target の中から語句や表現を取り上げて、場面や相手に応じた表現のコツや、より英語ら

しい発音、相手に伝わる発音をするためのコツを学習できるようにしました。

d. Focus

Target から、英語で表現する際に役立つ文構造・文法事項を取り出し、実際に活用する際のモデルとなる例文とともに示しました。各項目には、表現として実際に活用する際の働きを示し、適宜、理解を助ける図やイラストを入れました。

e. Grammar Alert!

Focus で学習した内容に関して、生徒がつかずきやすいポイントや日本語と英語の表現の違い、似たような英語表現のニュアンスの違いなどを **Q&A** 形式で取り上げ、理解を深められるようにしました。

f. Exercises

Focus で学習した表現を、実際に使えるようにするためのトレーニングの場としました。無理なく学習できるよう、**Exercise A** から **C** へと、難易度が段階的に上がるように問題を配置しました。また、解答を音読する指示を入れ、単なる答え合わせにとどまらず、学習した表現が実際に使えるレベルに定着するよう工夫しています。さらに、**Step Up** では学習した表現を使って自分のことを表現したり、絵を見ながら話したりする活動を設け、**Your Turn** における本格的な自己表現活動への橋渡しとしました。

g. Your Turn

Targetや**Focus**で学習した表現を使って行う表現活動を用意しました。場面設定や伝える相手、目的を具体的にすることで、生徒の表現活動への意欲を高めるとともに、実生活で応用できるよう工夫しました。また、無理なく表現活動に取り組めるよう段階的な**3 Step**構成にしました（**Step 1**：リスニング→**Step 2**：**Step 1**を参考に情報の整理→**Step 3**：書いたり、話したり、発表したりする）。これらの**Step**を通して、論理の展開や適切な表現方法を学習できるよう、適宜例文を用意するとともに、書いたり話したりする前に、表などを使って情報を整理させるようにしました。さらに、ペアやグループ活動を多く設け、互いの意見を比較し、学び合う協働学習ができるようになっています。

5. Do You Remember?

各 **Lesson** で学習した表現を繰り返し学習し、定着を図る場としました。**Exercises** 同様、解答を音読させる指示を入れています。

6. Game!

Lesson で学習した表現を使ってできる楽しいゲームを用意しました。

7. Writing Tips

正しく英文を書くためのポイントを学ぶ場としました。コラムでは、よりよい表現をするためのコツや学習方法などのアドバイスを扱いました。

8. Appendices

a. Expression Park

各 Lesson の表現活動で活用できる補充表現集を設け、生徒が自ら語彙や表現の幅を広げられるようにしました。各 Your Turn には Expression Park へのリンクを設けています。

b. Your Turn Scripts

Your Turn Step 1 のスクリプトを掲載することで、スクリプトに使われている表現を、生徒が自己表現する際に参考にできるようにしました。

c. Lesson 18 参考資料

Lesson 18 で自分の地域について発表する際に必要な資料を掲載しました。資料を巻末に用意しておくことで、授業を円滑に進めることができるよう配慮しました。

d. 数字の読み方、Eメールの書き方、住所の書き方

必要に応じて、生徒が参照できるようにしました。また授業外の実生活でも役立つ情報となるよう配慮しました。

e. 発音記号の読み方

英語らしい発音ができるようになるよう、発音記号と発音の仕方を詳しく取り上げました。Lesson の For Better Expression と連動して使えるほか、辞書指導にも役立てることが出来ます。

2. 対照表

図書構成・内容	学習指導要領の内容					箇所	配当時間	
	第2款		第3款 1		第3款 2, 3, 4			第4款
	(1)	(2)	使用場面	働き				
Bridge Lesson 1~3					2, 3		pp.6-8	1
Lesson 1	ア,イ,ウ	ア,ウ	a, b	b, c	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.9-12	3
Lesson 2	ア,イ	ア	a, b	a, b, d, e	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.13-16	3
Lesson 3	ア,イ	ア,イ	a, b	b, c,	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.17-20	3
Lesson 4	ア,ウ	ア	a, b	a, b, c	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.21-24	3
Do You Remember? 1					2, 3, 4		p.25	0
Game 1	ア		b	c	2, 3, 4		p.26	0
Lesson 5	ア,イ,ウ	ア,イ,エ	b	a, b, c	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.27-30	3
Lesson 6	ア,イ	ア,イ	a, b	a, b, c	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.31-34	3
Lesson 7	ア,イ	ア,イ,エ	b	a, b, c, e	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.35-38	3
Lesson 8	ア,イ,ウ	ア,イ	b	a, b, c, d	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.39-42	3
Do You Remember? 2					2, 3, 4		p.43	0
Game 2					2, 3, 4		p.44	0
Writing Tips 1		イ			2, 3, 4		pp.45-46	1
Lesson 9	ア,イ,ウ	ア,イ,ウ	b	a, b, c, e	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.47-50	3
Lesson 10	ア,ウ	ア,イ	b	a, b, c, d	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.51-54	3
Lesson 11	ア,イ,ウ	ア	b	b, c	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.55-58	3
Lesson 12	ア,イ,ウ	ア,イ,ウ	b, c	a, b, c, d, e	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.59-62	3
Lesson 13	ア,イ	ア,イ	a, b	b, c, d	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.63-66	3
Do You Remember? 3					2, 3, 4		p.67	0
Game 3					2, 3, 4		p.68	0
Lesson 14	ア,イ	ア,イ	b, c	a, c	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.69-72	3
Lesson 15	ア,イ	ア,イ	a, c	c, e	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.73-76	3
Lesson 16	ア,イ,ウ	ア,イ,ウ,エ	b, c	c, d, e	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.77-80	3
Do You Remember? 4					2, 3, 4		p.81	0
Game 4					2, 3, 4		p.82	0
Writing Tips 2		イ			2, 3, 4		pp.83-84	1
Lesson 17	ア,イ,ウ	ア,イ,ウ,エ	b	c, d	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.85-88	3
Lesson 18	ア,イ,ウ	ア,イ,ウ	b, c	c, d, e	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.89-92	3
Lesson 19	ア,イ,ウ	ア,イ,ウ,エ	b	c, d	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.93-96	3
Lesson 20	ア,イ	ア,イ	a, b	b, c	2, 3, 4	2(1)(4)	pp.97-100	3
Do You Remember? 5					2, 3, 4		p.101	0
Game 5					2, 3, 4		p.102	0
Writing Tips 3		イ			2, 3, 4		pp.103-104	1
Speech Check List	ア,ウ	ア, ウ, エ					後見返し⑤	0
Writing Check List	イ	イ, エ					後見返し⑥	0
							合計64時間	

※Do You Remember?, Gameなどは家庭学習や授業の隙間時間での利用を想定しているため、配当時間を当てていない。